

南富良野町水害タイムライン第2回検討会

「南富良野町水害タイムライン第2回検討会」を開催しました。第1回検討会では、「災害シナリオ・リスクの共有」、「意思決定のトリガーとタイミングの設定」、「災害対策本部各部班の防災行動の抽出・整理」を実施しました。今回は、第1回検討会の結果をまとめた「タイムライン素案」に基づき、災害対策本部各班や関係機関の連携事項の確認を行うとともに役割に応じたグループを編成してグループワーク形式でタイムライン素案の確認・精査を行いました。

【実施日時】平成30年11月20日(火) 13:30～16:30

【実施場所】南富良野町役場 大会議室

【参加機関】南富良野町、防災関係機関6機関55名

開会の様子

開会にあたり、南富良野町の池部町長より開会挨拶がありました。

「今年度内のタイムライン試行版策定を目指して、本日は2回目の検討会となります。第1回の結果をまとめたタイムライン素案を基に検討するわけですが、平成28年の災害を乗り越った皆様方の英知を活かして、ぜひ南富良野町に合ったタイムラインを作れるよう検討していただきたい。」とお話されました。



池部 彰 南富良野町長

ワークショップ

はじめに事務局からグループワークの進め方について説明を行いました。また、南富良野町の荒木防災安全推進室長より災害対策本部の事務分掌について変更点の確認や今後新たに調整して行きたい事項の提案がありました。

グループワークは第1回検討会同様、意思決定グループ、総務・企画対策グループ、保健福祉・文教対策グループ、建設・産業対策グループの4テーブルに分かれて行いました。各テーブルでは『タイムライン素案』に基づき、各班の防災行動について行動内容、実施タイミング、役割分担の確認・修正と、他班と協議が必要な点や疑問点・課題の抽出を行いました。



全体講評

ワークショップ終了後、アドバイザーの環境防災研究機構北海道の黒木代表理事から検討会全体の講評を頂きました。

「町から提案のあった所掌の変更や役割分担については、議論の後、共有を図れると良い。昨年の振り返りで出た課題や検討事項はタイムラインに反映して欲しい。防災は最終的には住民の主体的な行動にかかってくるので、今後はこのタイムラインを活かして住民を巻き込んだ対応を考えてほしい。タイムライン試行版完成後には、毎年出水期の前などにぜひ訓練して使えるようにして欲しい。」とお話がありました。



黒木幹男アドバイザー

閉会挨拶

札幌開発建設部河川整備保全課の岩崎課長より閉会挨拶がありました。

「今回、意思決定グループの検討に参加したが、まだまだ突き詰めていかなければならないと改めて実感したので、第3回に向けて時間を取って事務局で調整していきたいと思う。平成28年水害の経験と課題を振り返ってこのタイムラインを活かしていけるよう引き続き検討をお願いしたい。」と述べられました。



岩崎河川整備保全課長